

3月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL <http://www.atsutajingu.or.jp>

今年も豊作でありますように

祈年祭(きねんさい)

3月17日(土)
午前10:00

本宮・別宮・摂末社

祭典・神事

祈年祭は五穀豊穰と産業の繁栄を祈るお祭りです。このお祭りは「トシゴイノマツリ」ともいい、この「トシ」とは稲のことで、その実りが豊かであることをお祈りします。当日は、県下の篤農家で組織された熱田神宮豊年講の皆さんをはじめ、農業関係者多数が祭典に参列します。



烏喰の儀と韓神舞を奉納

御田神社(みたじんじゃ)祈年祭

3月17日(土)
午後2:00

御田神社

祭典・神事

五穀豊穰の神様である大年神(おおとしのかみ)をお祀りする御田神社の祈年祭では、祭典の前に、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べさせる「烏喰(おとぐい)の儀」が行われます。祭典中には「韓神舞(からかみのまい)」という、独特の所作をする舞も執り行われ、非常にめずらしいお祭りです。



○古くは、烏喰の儀のお供物を、鳥が飛んできて食べなければ、祭典が行われなかったとも伝えられています。

お氷上さんの愉快的な神楽

氷上姉子神社太々神楽(だいだいかぐら)

3月25日(日)
午後2:00

氷上姉子神社(境外摂社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する当神宮摂社の氷上姉子神社で、東海地方に広く伝播した熱田神楽を奏し、農作物の豊作を祈願します。

当日は追儼・招福などを祈る、ここでしか拝観できない六種の神楽を神前で奉奏します。



○この神楽は江戸時代中期頃より始まったといわれ、明治初年まで熱田神宮の神前でも奉納されていました。その後は神楽元に引き継がれて、やがて市南部に普及し氷上姉子神社で行われるようになりました。

熱田神宮宝物展 3月平常展

コーナー展示「幕末から明治へ～野原コレクションを中心に～」

3月2日(金)～3月27日(火)
午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

本年は明治維新より数えて150年の節目を迎えました。そこで3月のコーナー展では、明治維新150年を記念して当神宮が所蔵する幕末・維新の関係資料、また「明治の元勳」と言われる、その当時、わが国の未来のために活躍した人々の書画なども展示します。幕末から明治を駆け抜けた先人たちの姿を想像しながらご覧ください。(展示品数約70点)

○[入館料] 大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金 *入館は午後4時10分まで
[お問合せ] 052-671-0852(熱田神宮文化殿)



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

3月10日(土)
午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

[演題]

三英傑の果たした事績に学ぶ
～戦国社会からの転換はどのように行われたのか～

[講師]

おかざき塾歴史教室主宰 市橋 章男 氏

○[聴講料] 無料
[お問合せ] 052-671-0852(熱田神宮文化殿)

